



第1回 国際交流懇談会

アーサー・ビナード氏をお招きして

# アーサー・ビナード おはなし会

『あなたが京都を忘れるとき』

10月7日(金) 18:00 - 20:00

京都工芸繊維大学附属図書館1階 グローバルcommons

[https://www.kit.ac.jp/sgu/report/global\\_commons/](https://www.kit.ac.jp/sgu/report/global_commons/)

\*グローバルcommonsは「多言語・多文化学習」がコンセプトの開放型学習エリアで、自由に話し合ったり、学び合ったり、多言語と多文化を体感する場所です。

入場無料・予約不要

アクセス | 市営地下鉄烏丸線「松ヶ崎」下車、「出口1」から  
右(東)へ約400m、4つ目の信号を右(南)へ約180m



## アーサー・ビナード

詩人 1967年米国ミシガン州生まれ

ニューヨーク州コルゲート大学で英米文学を学び、卒業と同時に来日、日本語での詩作、翻訳を始める。

詩集『釣り上げては』（思潮社）で中原中也賞、『日本語ぼこりぼこり』（小学館）で講談社エッセイ賞、『ここが家だーベン・シャーンの第五福竜丸』（集英社）で日本絵本賞、『左右の安全』（集英社）で山本健吉文学賞、『さがしています』（童心社）で講談社出版文化賞絵本賞、産経児童出版文化賞ニッポン放送賞などを受賞。

## 子どもたちのために、モノとヒトのことを一緒に考えてみませんか？

アーサー・ビナード氏は、第2言語として日本語を勉強されたにも関わらず、日本語で、人の心の奥底まで響く表現活動をされている。それは言葉が美しく上手だからというだけではなく、彼自身が広島や長崎、福島、沖縄に、何度も足を運び、多くの人と会い、その地を歩き、悲しみを共有されてきたからだ。そして、その経験が血となり、肉となって、脳だけでなく、身体とともに躍動する心（Heart）から生み出された言葉で表現されているからだ。今回、頂いたタイトルは『あなたが京都を忘れるとき』、谷川俊太郎先生が世界中から集められた1930年代に生み出されたラジオたちを前にして、いったいどんなお話が繰り広げられるのだろうか。ラジオはどんな記憶をもっているのだろうか。京都がピカドンを経験しなかったのは、神社仏閣やそこにあるモノたちがいてくれたからかもしれない。もし、このモノたちがいなかったら、私たちはここに今いるのだろうか。子どもたちのために、モノとヒトのことを一緒に考えてみませんか？

京都工芸繊維大学 教授 澤田美恵子

## スケジュール

ご挨拶 18:00 - 18:10 京都工芸繊維大学 学長 古山正雄

おはなし会 18:10 - 20:00 アーサー・ビナード氏

司会 京都工芸繊維大学 教授 澤田美恵子

## お問い合わせ先

澤田美恵子研究室

E-Mail: samieko@kit.ac.jp

